

I 平成26年度基本方針

当財団は、公益財団法人として「自律と貢献の公益経営」を目指し、「文化及び芸術の振興に関する事業」、「青少年の健全な育成に関する事業」、「生涯学習活動の推進に関する事業」を3つの根幹事業と位置付け、「創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現への寄与」に向けて、公益目的事業を推進しております。

平成26年度は、第3期の指定管理期間の初年度として、当該施設単独で事業を実施するだけでなく、各施設間の連携を一層図ることで、それぞれの専門性や強みを相互に活用するとともに、関係団体とも共働することにより、様々な魅力ある新たな事業運営に取り組んでまいります。

施設運営においては、市民の皆様が快適で安全にご利用いただけるよう、常に良好な状態を維持するとともに、施設が市民の皆様に、愛され、信頼されるよう、利用者ニーズに沿ったサービスの提供を図ってまいります。

また、常にコスト意識を持ち、無駄を省き、利用者の立場に立った施設運営を実施するとともに、当財団が38年にわたり培ってきた管理運営のノウハウを活かし、合理的・効率的な業務の推進を図ってまいります。

一方、平成26年度には、青少年センターの移転を含めた産業文化センターの再整備が予定されております。産業文化センターは、当財団が公益目的事業を実施するための重要拠点として、今後も財団が運営を続けていけるよう、これまでの実績のアピールと今後の新たな事業展開に対する提案を積極的に実施してまいります。

さらに、平成24年度から平成28年度までを対象期間とした「公益経営戦略ビジョン」において、平成26年度は、ちょうどその中間の年度に当たります。ビジョンに掲げる目標に対し、進捗状況の確認と見直しを行うとともに、取組が遅れている項目については、スピードアップを図ることにより、目標達成を進めてまいります。

さて、昨年来から景気回復が見られるものの、依然として厳しい情勢が予想される26年度ですが「文化都市・豊田市づくり」を目指して、以下に掲げる基本方針に基づき、役職員一丸となって公益の担い手としての責任を果たすべく、努力を重ねてまいります。

1 市民文化の推進

- 「文化芸術振興計画」の基本理念「ふるさとの文化を継承し、新たな文化を創造して、人が輝き誇りがもてるまちづくりをめざす。」を指針に、文化・芸術と出会う機会の充実、文化・芸術活動の機会の提供、文化振興を担う人材の育成・活用に重点を置き、事業を実施します。
- コンサートホールでは、巨匠マレイ・ペライア率いる英国ロンドンを拠点とする名門オーケストラ「セント・マーティン・アカデミー管弦楽団」、40年の歴史を持つ世界第一級と評される金管五重奏団「カナディアン・ブラス」。リサイタル・シリーズでは、ベルリン・フィルのコンサートマスター「榎本大進」、ウィーン・フィルのコンサートマスター「ライナー・ホーネック」によるリサイタル。平成25年度よりシリーズ化した「名古屋フィルハーモニー交響楽団豊田市コンサートホールシリーズVOL. 2」、国内では比類のないジャズピアニスト「小曾根 真」のピアノ・リサイタル、伝統的なフランスの響きで著名な世界的オルガニスト「ダニエル・ロート」

のオルガン・リサイタル。そして昨年度に引き続いての藤原歌劇団のオペラや新年恒例のニューイヤー・コンサートなど、ホールの特性に合った質の高い企画に重点を置いた演奏会を開催します。

能楽堂では、能「俊寛」・「二人静」・「葵上」・「西行桜」・「邯鄲」・「楊貴妃」、狂言「牛盗人」・「狐塚」・「仏師」・「佐渡狐」などの名作の数々を能楽5流派（観世・宝生・金春・金剛・喜多）、狂言2流派（大蔵・和泉）の第一線で活躍する演者により公演を行います。イヤホンガイドや事前講座などを充実させた解りやすい能狂言に重点を置き、若年層など愛好者の拡大に努めます。また、おいでんまつりと共働し「江戸落語と花火の夕べ」や国内各地で継承されている郷土芸能を紹介する「伝統芸能シリーズ」などを開催します。

平成25年度から取組んでいる招聘アーティストによる市内小中学校などへの「アウトリーチ事業」に能楽師による伝統芸能を導入し、更に充実した展開を行い、次代を担う青少年に本物の芸術に接する機会を提供します。また、平日の昼間と夜間に開催してきたワンコインで一流の音楽を鑑賞できる60分間コンサート「かーるくラシック」を夜間のみの開催とし、親子で鑑賞できる機会としても捉え、音楽を通じた親子のコミュニケーションの場としての活用も広く呼び掛けます。

- また、市民文化会館では、文化芸術に触れるきっかけづくりとして「歌舞伎公演」、親子や家族で楽しめる「ディズニーライブ」、伝統芸能の良さを肌で感じる「とよた寄席」など様々な鑑賞事業をバランスよく提供いたします。その他、より充実した事業を展開するため他部署と連携協力して行う「文化講演会」や「映画塾」、危機管理体制を強化するための「避難訓練コンサート」を実施します。
- 文化活動者の社会貢献の場として、また、子どもたちが文化・芸術に出会う機会を拡充するため、和楽器、日本舞踊だけでなく、新たに音楽、演劇、美術、伝統芸能などの鑑賞・体験プログラムを取り入れ、市内小中学校を対象に「文化活動者派遣事業」を実施します。また、文化庁の補助金を活用しながら、地域活性化のため地域住民とともに、地域の文化資源である農村舞台を活用した「農村舞台アートプロジェクト2014」、文化団体や市民の発表の場として「とよた市民芸能交流大会」などを実施することにより、文化・芸術活動の機会の提供と質の向上に努めます。
- 次世代の文化を担う子どもたちの育成として、演劇を通して創造力や表現力を培う「こども創造劇場」、舞台芸術分野での人材育成として「演劇アカデミー」を実施します。また、文化活動者のスキル、知識や経験を活かす「夏休みこども博覧会」などを実施することにより、人材の育成・活用を図ります。

2 青少年の健全な育成の推進

- 青少年センターでは、青少年を取り巻く様々な課題に対応するため、「婚活イベント」、「自立支援相談会」などの支援事業を積極的に行うとともに、青少年サークルや青少年団体との共働による「とよたキッズタウン」を実施し、青少年を地域社会に活かす事業の強化を図ります。また、次年度の産業文化センターへの移転に向け、青少年活動の拠点施設としての基盤づくりに力を注ぎ、高校生、大学生などの若い世代の力が活用できる事業にも積極的に取り組みます。
- 総合野外センターでは、子どもたちの生活体験や自然体験の充実が強く求められている今、

「山の子学級」、「六所のつどい」、「チャレンジキャンプ」などの野外活動や、「親子deキャンプ」、「ファミリーキャンプ」などの親子ふれあい体験活動を通して、主体性や豊かな情操を備えた、心身共に健全な青少年の育成を図る取り組みを行います。

- とよた科学体験館では、青少年の科学やものづくりに対する知的好奇心を高め、創造性を育む活動・交流の場を提供するため、「プラネタリウム投映」や「ワークショップ」など様々な事業を展開します。特にレベルアップを図るために企業や大学・研究機関・ものづくり団体等との共働を推進するとともに、小学校高学年を対象とした「サイエンスクラブ中級」や中学生、高校生を対象とした「スーパーサイエンススクール」などの質の高い事業を新しく実施し、サイエンス・リテラシー（応用力・活用能力）の育成に努めます。

3 生涯学習活動の推進と地域活動の支援

- 豊田市の交流館運営基本方針に掲げる「人づくり・地域づくり・生きがいつくり・地域活動の担い手づくり」を推進するため、家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、環境・防災・防犯講座など、市民に生涯学習の機会を提供します。
- 地域における住民の育ちあい・学びあいを推進するため、交流館自主グループや地域の人材を活かし、講師となって地域住民に教えるための支援と、地域人材が交流館を活用し、地域づくりに資する事業を行うための支援を行います。
また、子どもを地域活動の担い手とするために必要な事業の推進として、地域住民が子どもに対して行う事業の支援や、子どもが地域活動へ参画する事業に重点を置き取り組みます。
- ESD（持続可能な社会の担い手づくり）の視点を取り入れ、地域課題の掘り起しや地域資源を活用した事業を展開し、将来にわたって住民や団体をつなぐコーディネーターとしての役割を果たします。
- 住民同士のふれあいと交流により地域の絆の大切さを深め、地域力を引き出すため、コミュニティ会議や地域で活動する団体などと共働で「生涯学習フェスティバル 交流館祭・ふれあいまつり」を開催します。

4 自律した財団経営の推進

- 業務に必要な技術や知識を身につける機会を広げ、専門性の向上を図るため、今年度より一般財団法人地域創造及び名古屋市科学館へ職員を派遣します。
- 職員行動規範「輝くぶんしん職員の心得10か条」の実践による市民サービスの向上を図るとともに、「人財育成プラン」を生かした研修制度の充実を図ります。
- 継続して財団を支援していただける賛助会員の募集と市民文化会館及び総合野外センターだけでなく、市の設置基準に適合した施設に対して、飲料水自動販売機設置の拡大を図るとともに、文化情報誌「カレント」や財団のホームページへの広告掲載を依頼し、広告料を募るなどの方法により、自己財源の獲得手段を広げ、財政基盤の安定化を図ります。
- 総合野外センターの給食調理業務の外部委託化を行い、経費の削減を図ります。
- 一般職員に再任用制度を導入し、職員を65歳まで雇用する環境を整備することで、高齢職員が長年培った知識・経験の有効活用を図ります。

Ⅱ 平成26年度事業計画

【1 文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業：定款第4条第1号事業】

音楽専門ホールを始めとする文化施設等を活用し、文化・芸術の振興を図るため、舞台芸術を中心とした自主公演や主催公演、芸術分野（絵画、書、写真、工芸等）における作品の展示会を実施することで、市民の方々に文化・芸術に直接触れる機会と場を提供し、質の高い文化・芸術の創造と発信、普及を図ります。

（1）文化・芸術に触れる機会を提供する事業

主な事業

○ 農村舞台アートプロジェクト2014（文化事業課）

全国的にも例のない地域の文化財を活用した、地域発信のアートプロジェクトとして本市の文化を全国へ発信するため、文化庁への助成を申請し、農村舞台を活用した様々な取組みを実施します。今年度は新たに、各界の専門家、アーティストらを招いて「シンポジウム」を開催し、本事業を全国へ発信します。さらに、「フェスティバル」では、市内外のアーティストによる実演やプレゼンテーション、ワークショップを豊田市民文化会館で実施し、市民が農村舞台でアーティストと出会う機会づくりをします。また昨年度に引き続き、農村舞台を「ギャラリー」や「劇場」として活用し、展覧会やライブを地域住民と共働で開催し、伝統文化の再生や、新たな地域文化の創造により地域の活性化を図ります。

○ 加藤矢舟 豊田芸術選奨受賞記念展（文化事業課）

芸術に触れ合う機会として、平成24年度豊田芸術選奨を受賞された書道家の加藤矢舟氏の芸術を広く市民の方々に紹介します。

○ こどもによる日本の伝統芸能（文化事業課）

地域や小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図ります。また、青少年センターの「こども茶華道教室」も同時開催し、事業相互の参加者の交流や新たな体験の機会を提供します。

○ 歌舞伎事業（市民文化会館）

元来「庶民の芸能」として親しまれてきた歌舞伎、この伝統文化に市民が気軽に触れる機会を提供し、興味や関心を抱くよう歌舞伎事業を開催します。内容は、独特な化粧や絢爛な衣裳についてのワークショップ、歌舞伎舞踊の鑑賞、埋もれてしまった名作をわかりやすい解説を付けて、現代口語調で復活させた歌舞伎公演の鑑賞です。また、市内の農村歌舞伎連絡協議会と連携協力を図り事業を推進します。

○ マレイ・ペライア&セント・マーティン・アカデミー管弦楽団（コンサートホール・能楽堂）

英国の名門「セント・マーティン・アカデミー管弦楽団」と、米国の著名なピアニストである巨匠「マレイ・ペライア」のコラボレーションで贈るコンサートを開催します。

○ 特別公演（コンサートホール・能楽堂）

典雅で気品ある女性がシテとなる鬘物の中でも、高位の女性がシテである「定家」「大原御幸」とともに「三婦人」のひとつである金春禅竹の名作「楊貴妃」を観世流・片山九郎右衛門が演じます。また、一年を締めくくる年貢納めという目出度い祝言性も持ちながら、贈収賄の人間模様も見え隠れする三者の駆引きが笑いを誘う百姓狂言の中で異色の作品「佐渡狐」を大蔵流・山本則俊が演じます。

事前講座の実施や能にはイヤホンガイドを付け、解りやすい鑑賞機会を提供します。

【2 文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業：定款第4条第2号事業】

文化・芸術に関する分野の人材を育成するため、受講者・参加者を募り、講座・体験活動・競技会を通して、文化・芸術に関する知識・技能の習得を図る事業を実施します。

(1) 文化・芸術に関する専門知識・技能の習得を目的とした講座を行う事業

主な事業

○ 舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー（文化事業課）

総合舞台芸術である演劇を通して、演出、プロデュース、広報など舞台制作一般を学ぶ機会を提供し、地域における文化・芸術ボランティアの人材育成を図ります。

○ 歌の昭和史 ～みんなで歌おう 懐かしい歌を～（コンサートホール・能楽堂）

学校唱歌・童謡・叙情歌など、懐かしい歌のオリジナルを聴き、共に歌う聴衆参加型講座を開催します。

○ 能狂言が見たくなる講座（コンサートホール・能楽堂）

能狂言に関連した周辺分野から講師をお迎えして、様々な角度から能狂言の楽しみ方をお話していただく講座を開催します。初めて見る人も、更にもっと楽しみたい方にも興味深い内容で、能狂言に対する関心を高めます。

(2) 文化・芸術の様々な技能の習得を目標とした体験活動を行う事業

主な事業

○ 文化活動者派遣事業（文化事業課）

市内の小中学校を対象に、日本の伝統的な和楽器・日本舞踊だけでなく、新たに音楽・演劇・美術などの芸術を鑑賞したり、実際に体験したりする活動を通して、日本の伝統文化や芸術に対する理解を深め、伝統文化や芸術の良さを見直す機会を提供します。

○ こどものアート体験プログラム（文化事業課）

市内を中心に活躍する文化活動家（アーティスト）を講師に迎え、子どもたちが興味を抱いて気軽に文化芸術に参加できるアート体験をワークショップ形式で運営し、次代を担う子どもたちの文化活動に出会う機会を提供します。また、交流館などと連携してアート体験で作った作品を展示し市民に見ていただく機会を提供します。

○ パイプオルガンを楽しむための講座（コンサートホール・能楽堂）

パイプオルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうため映像や演奏を交えた3回シリーズの講座を開催します。

（3）文化・芸術に関する技術・技能の習得を目的とした競技会を行う事業

主な事業

○ 第10回とよたふれあい将棋フェスティバル（文化事業課）

こども対象の将棋大会の他、親子で参加できる将棋指導対局や将棋の基本を学べる将棋ふれあいコーナー等を通じ、技術・技能の習得と親子のふれあいの機会を提供します。

○ 第35回とよた囲碁まつり（文化事業課）

市内の愛好家が集う囲碁の祭典として、大人、子どもを対象とした囲碁大会やプロ棋士による指導碁、基礎から囲碁を学べる入門講座、大会優勝者とプロ棋士による公開囲碁対局を通じて、技能の習得と市民の交流を図る機会を提供します。

【3 文化・芸術の振興に関する表彰、

助成等を行う事業：定款第4条第3号事業】

文化・芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表といった、地域住民の主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励するため、文化・芸術の振興に功績のあった個人や団体の表彰、コンクールの実施や文化団体等への助成を行います。

(1) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため表彰を行う事業

主な事業

○ 平成26年度財団大会（文化事業課）

地域の文化振興に業績をあげた功労者を表彰し、主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励します。

(2) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するためコンクールを行う事業

主な事業

○ 第22回とよたフォトドキュメント2014（文化事業課）

豊田市内の出来事や市民の生活・風習を捉えた写真を募集し、展示会を開催することにより、故郷を見直す機会の提供と後世に伝えていきたい今の豊田市の姿を記録します。

豊田市の財産である過去の入賞作品を市民の皆様に見ていただける機会を提供するため、巡回展を平成27年度の開催に向けて準備します。

(3) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため助成を行う事業

主な事業

○ 市民参加事業（文化事業課）

公募により「とよた総合文化フェスティバル」への参加を認定された市民団体の文化行事に対して、助成を行い、文化・芸術活動の支援・奨励を行います。

○ 文化団体活性化事業（文化事業課）

文化団体の開催する事業を後援し広くPRするなど、地域で活動する文化団体を様々な角度から助成することで自立と活性化を推進し、文化による地域づくりを支援します。

【4 地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業：定款第4条第4号事業】

地域文化の保存、伝承、普及を図るため、地域文化に係る調査・資料収集を行い、その情報を市民に提供することによって、文化・芸術情報を広く市民の方々に提供し、もって地域文化の保存、伝承、普及を図ります。

(1) 地域文化の保存、伝承、普及を図るための調査、資料収集を行う事業

主な事業

○ とよた定点観測（文化事業課）

毎年4月1日に豊田市駅周辺の定められた場所でのビデオ撮影、また年間を通じて豊田市全域の定められた場所で写真撮影をし、街並みや自然、人々の生活を捉え、継続的なデータ保存を行います。

また、今までに保存してきたデータを、市民の皆さんに見ていただく機会を提供するため、巡回展を平成27年度の開催に向けて準備します。

(2) 地域文化の保存、伝承、普及を図るための情報の提供を行う事業

主な事業

○ 文化情報誌「カレント」発行（文化事業課）

市内の文化情報を網羅した情報誌を年4回発行し、地域の文化・芸術情報の提供を行います。市民に広く情報提供するため、広告掲載を募集し、発行部数を増やします。

○ CATV文化情報番組制作（文化事業課）

地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作し、ひまわりネットワークで放映します。地域住民へ地域文化の保存、伝承、普及を図るための情報の提供を行うとともに、財団が主催する事業をPRします。

【5 青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を 養う機会と場を提供する事業：定款第4条第5号事業】

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、青少年の健全な育成を図るためには、家庭、学校、地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、講座や体験活動を実施し、併せて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場の提供を行います。

(1) 青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

主な事業

○ 高校生ボランティアスクール（青少年センター）

保育・福祉・レクリエーション・ものづくりの4コースのボランティア活動体験を通じて、自立心と思いやりのある高校生のリーダーを育成します。

○ クリスマスパティー（青少年センター）

募集した青年たちによる実行委員会がクリスマス会を企画運営し、若者に男女の出会いと仲間づくりの場を提供します。

○ 小学校、中学校の宿泊を伴う体験活動（総合野外センター）

小学校5年生のキャンプ、中学校1年生の宿泊学習の目的の達成のために、総合野外センターの施設・自然を活かした活動を支援します。

○ 六所のつどい・山の子学級・チャレンジキャンプ（総合野外センター）

集団での野外活動体験を通じて、自然のすばらしさや大切さを知るとともに、仲間づくりや協力することの意義を学び、子どもたちの社会性や豊かな人間性の育成を図ります。

○ プラネタリウム投映事業（産業文化センター）

子どもから一般成人まで幅広い世代、ニーズに対応した番組を企画し、投映します。また、生解説のオリジナル番組「星空散歩」をはじめ、地元演奏家とのコラボレーションによる「星空散歩ライブ」「子育て支援投映」「国際交流投映」などにより、利用層の拡大を図ります。

○ ワークショップ（産業文化センター）

大学や高専などの教育機関やものづくり団体との連携を深め、子どもたちの学びの段階に応じたサイエンス事業を提供します。

○ スーパーサイエンススクール（産業文化センター）

中学校や高校の科学部に呼びかけ、サイエンスショーに取り組み、科学体験館や交流館などでの発表会を実施し、地域での科学習得レベルの向上を図ります。

【6 青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言

その他の支援を行う事業：定款第4条第6号事業】

青少年の健やかな成長を育むため、少年少女合唱団、ジュニアマーチングバンド、ジュニアオーケストラの運営及び子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなど青少年団体の運営を側面的に支援し活動の活性化をサポートします。

(1) 音楽活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

主な事業

○ 少年少女音楽3団体の企画運営

音楽3団体の活動を企画運営し、演奏活動を通して青少年の豊かな情操を養うとともに、定期演奏会、各種イベント出演などを通して社会参加を果たし、豊田市の青少年の音楽活動の中心となり、音楽文化の向上に寄与します。

① 豊田市少年少女合唱団（文化事業課）

定期演奏会、合唱コンクール、各種イベントへの出演に加え、今年度は全国応募の「2014こどもコーラス・フェスティバル」に参加し、演奏を披露するとともに国内外の著名な講師による指導を受け、レベルの向上に取り組みます。

② 豊田市ジュニアマーチングバンド（文化事業課）

定期演奏会のほか、地域に密着したイベントなどへの積極的な参加やマーチング三河大会をはじめとする各種大会への出場、夏季合宿を通して、青少年の豊かな情操を養います。

③ 豊田市ジュニアオーケストラ（コンサートホール・能楽堂）

夏と春の定期演奏会のほか、アンサンブルによる地域への訪問演奏など多くの市民に親しまれる活動を行います。

(2) 青少年団体の育成支援を行う事業

主な事業

○ レクリエーション団体指導者派遣事業（青少年センター）

青少年センターを活動拠点とするレクリエーション団体と定期的に情報交換会を行うとともに、子ども会などにレクリエーション指導者を派遣し、活動支援を行います。

○ 青少年団体共働事業「とよたキッズタウン」（青少年センター）

青少年センターを活動拠点とする団体・サークルの青年たちが、子どもだけの模擬都市「とよたキッズタウン」を作ります。参加した子どもは青年に働くことを教わり、青年は子どもへの支援の在り方を学習します。

○ 豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）

青少年団体の活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の支援を行います。

○ キャンプインストラクター養成講座（総合野外センター）

日本キャンプ協会と連携して野外活動の基本的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動指導者の育成を図ります。

【7 生涯学習施設を活用して、

生涯学習の機会と場を提供する事業：定款第4条第7号事業】

生涯学習施設を活用して、豊かな生涯学習社会を実現するため、幅広い年代の市民の高度で多様な学習要求や現代的課題(健康、環境、子育て、地域課題等)に対応した講座・セミナーを開催し、市民自らが主体的に関わることができる生涯学習活動の機会と場を提供します。

(1) 市民に生涯学習の機会を提供する事業

主な事業

○ 家庭教育講座、子ども・高齢者向け講座、

環境・防災・防犯講座、ボランティア養成講座等(交流館)

市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供していきます。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場の提供をしていきます。人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいづくり」、「地域活動の担い手づくり」を目的とした事業を「E S D (持続可能な社会の担い手づくり)」の視点を取り入れながら展開します。

(事業数424件)

【8 公益目的事業の推進に資する事業：定款第5条事業】

豊田市では地域住民の主体的運営によるコミュニティ会議が中学校区を単位として組織され、その事務局業務は、中学校区ごとに設置されている交流館の指定管理者である当財団が担っています。地域社会の健全な発展を促すため、地域コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を交流館で行います。

(1) 地域社会の健全な発展を促すため、地域コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

主な事業

○ 地区コミュニティ会議事務局（交流館）

地域住民の住みよいまちづくりに向け、コミュニティ会議や地域で活動する団体等とコミュニケーションを図り、地域の活性化や課題解決に結びつける事業を展開します。

(2) 指定管理者として管理運営を受託した施設等を公益目的事業以外に貸与する事業

主な事業

○ 各指定管理施設の管理運営

関係法令・条例等を遵守しつつ、市民の利益を第一優先に考えた柔軟で弾力的な施設運営を推進します。また、市民が安全で快適に利用できるよう、きめ細かな施設運営を推進するとともに、市民の立場に立ち、公平・公正な施設管理を推進します。

(3) 飲料水の販売に関する事業

主な事業

○ 自動販売機等による飲料水の販売

市民サービスの一環として、当財団が管理運営している市民文化会館、総合野外センター、高橋運動広場、末野原運動広場及び足助トレーニングセンターにおいて飲料水の販売を行います。

【9 会議】

(1) 評議員会

名 称	期日	会 場	内 容
6月定時 評議員会	6月	市民文化会館 会議室	平成25年度事業報告及び決算について 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員の選任につ いて 公益財団法人豊田市文化振興財団役員の選任につい て

(2) 理事会

名 称	期日	会 場	内 容
5月定時 理事会	5月	市民文化会館 会議室	平成25年度事業報告及び決算について 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項に ついて ほか
12月臨時 理事会	12月		平成26年度補正予算について ほか
3月定時 理事会	3月		平成27年度事業計画及び収支予算について ほか

(3) 監事会

名 称	期日	会 場	内 容
監事会	5月	市民文化会館 会議室	平成25年度業務及び会計監査

(4) 表彰審査会

名 称	期日	会 場	内 容
表彰審査会	3月	市民文化会館 会議室	文化表彰・青少年表彰の選考について ほか

(5) 文化振興委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回文化振興委員会	6月	市民文化会館 会議室	平成25年度事業報告において 平成26年度事業計画について 平成26年度モニタリング事業について ほか
第2回文化振興委員会	9月		平成27年度事業計画について ほか
第3回文化振興委員会	2月		平成26年度モニタリング事業の評価報告について 平成27年度事業計画について ほか

(6) 青少年育成委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回青少年育成委員会	6月	青少年センター 会議室 ほか	平成25年度事業報告において 平成26年度事業計画について 平成26年度モニタリング事業について ほか
第2回青少年育成委員会	9月		平成26年度モニタリング事業の評価報告について 平成27年度事業計画について
第3回青少年育成委員会	2月		平成26年度モニタリング事業の評価報告について 平成27年度事業計画について 平成27年度モニタリング事業について ほか

(7) コンサートホール・能楽堂企画運営委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回企画運営委員会	7月	コンサートホール 多目的ルーム	平成26年度基本方針について 平成26年度事業計画について ほか
第2回企画運営委員会	9月		平成27年度事業計画について ほか
第3回企画運営委員会	2月		平成26年度事業報告・総括について 平成27年度事業計画について ほか

Ⅲ 平成26年度事業計画の附属明細書

1 文化事業課

文化活動のコーディネーターとして、豊田市の文化・芸術の特性や市民ニーズに合った文化事業を実施するとともに、行政や市民の方々との連携・協力により効果的な文化事業を展開していきます。

■事業

平成26年度は、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業として、地域の方々と共働して、農村舞台と文化芸術を活かした地域文化の創造により地域の活性化を図る「農村舞台アートプロジェクト2014」を実施します。また、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業として、新たに音楽、演劇、美術などを加えた「文化活動者派遣事業」を実施します。さらには、次世代の文化を担う子どもたちの育成として「とよたこども創造劇場」を、青少年音楽団体の育成事業として「豊田市少年少女合唱団」、「豊田市ジュニアマーチングバンド」の運営など幅広い文化事業を展開することにより、豊田市の文化振興に努めます。その他の事業においても、参加者の拡大や満足度の向上に向け事業内容の見直しを図ります。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
豊田芸術選奨受賞記念 加藤矢舟書作展	5月	博物館等の 展示	豊田芸術選奨受賞者の芸術について 広く市民に鑑賞の機会を提供するた め、展覧会を開催する。	自主
第14回とよたストーリー テリングフェスティバル	9月	自主公演	語りや音楽などで民族の誇りや伝承 文化を伝えるストーリーテラーによ る移動公演を開催する。	自主
とよたアートナウ2014	9月	博物館等の 展示	ジャンルを越えたアートの展覧会や 公演などを開催する。(農村舞台ア ートプロジェクト2014と合同開催)	自主
豊田市民音楽祭2014	12月	自主公演	市民による参加型のジャンルを問わ ない音楽祭を開催する。	自主
第25回 歳末チャリティー作品展	12月	博物館等の 展示	文化団体の作品を廉価で頒布し、その 収益を福祉団体へ寄付する。	自主
第18回国際交流写真展	2月	博物館等の 展示	韓国仁川市の女性写真家グループと とよたレディースフォトクラブによ る草の根の国際交流写真展を開催す る。	自主
第39回お茶と花と 文化講演の集い	2月	博物館等の 展示	文化講演を聴き、お茶と花に親しみ伝 統文化の普及を図る。(市民文化会館 と連携)	自主

※事業区分について：自主—当財団独自の事業、共催—豊田市との共催事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

映画塾	年3回	自主公演	映画の鑑賞を通じて映画の素晴らしさを知り人生を豊かにする。(市民文化会館、視聴覚ライブラリーと連携)	自主
市民ギャラリー展	5～6月	博物館等の展示	文化団体による作品展示を奨励し、ギャラリーの活性化を図る作品展を開催する。	共催
とよたこども創造劇場	5～11月	自主公演	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	共催
こどもによる日本の伝統芸能	8月	自主公演	小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図る。(青少年センター事業、こども茶華道教室と同時開催)	共催
農村舞台 アートプロジェクト2014	8～3月	博物館等の展示	農村舞台を使いシンポジウム、フェスティバル、アート展、ライブを開催する。(市民文化会館と連携)	共催
とよた市民芸能交流大会	10月	自主公演	新市域の稲武地区で芸能交流大会を開催し地域文化の活性化を図る。(稲武交流館と連携)	共催
ジュニアプラス コンサート	11月	自主公演	小学校金管バンドによる演奏会を開催する。	共催
吹奏楽フェスティバル 2014	11月	自主公演	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高等学校吹奏楽の演奏会を開催する。	共催
野外箏曲演奏会	11月	自主公演	市民茶会を彩る箏曲演奏会を開催する。	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	内 容	事業区分	
第53回 全日本かるた選手権大会	4月	競技会	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会に発展した大会。全日本かるた協会と共催で開催する。	自主
民謡を唄う会	7～12月	講座、セミナー、育成	民謡の持つ明るさ、楽しさを知っていただく、楽しく分かりやすい講習会を開催する。	自主
音楽練習場運営事業	通 年	講座、セミナー、育成	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。	自主
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	5～2月	講座、セミナー、育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座を開催する。(市民文化会館と連携)	共催
文化活動者派遣事業	6～12月	体験活動等	市内小中学校等へ文化活動者のワークショップを出前する。(市民文化会館と連携)	共催
第10回とよたふれあい 将棋フェスティバル	6月	競技会	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子のふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	共催

第46回市民民踊講習会	6月	講座、セミナー 育成	地域や職域で開催する盆踊り大会のため新作等を取り入れた踊りの講習会を開催する。	共催
第14回 夏休みこども博覧会	8月	体験活動等	絵本の読み聞かせや展示、ワークショップによる手作りのこども博覧会を開催する。	共催
秋季市民茶会	11月	体験活動等	市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	共催
第35回 とよた囲碁まつり	2月	競技会	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	共催
こどものアート体験 プログラム	7～11月	体験活動等	ワークショップを開催し、子どもたちに文化・芸術体験の機会を提供する。	共催

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
平成26年度財団大会	6月	表彰、 コンクール	財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績を挙げた功労者を表彰し称える。	自主
第12回全国高校生 付け句コンクール	7～9月	表彰、 コンクール	全国の高校から付け句を募集しコンクールを開催する。	自主
市民参加事業	9～11月	助成(応募型)	市内公募により参加を認定された市民団体の文化行事に助成を行う。	自主
市民俳句会秋季大会	11月	表彰、 コンクール	公募による俳句大会を開催する。	自主
市民短歌大会	11月	表彰、 コンクール	公募による短歌大会を開催する。	自主
とよた連句まつり	11月	表彰、 コンクール	市民参加による連句まつりを開催する。	自主
第26回とよた ビデオコンテスト	12月	表彰、 コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催する。(視聴覚ライブラリーと連携)	自主
文化団体活性化事業	通年	助成(応募型)	文化団体の活動を様々な角度からサポート。文化団体の自立と活性化を推進する。	自主
第22回とよたフォト ドキュメント2014	2月	表彰、 コンクール	豊田市内の出来事や市民の生活・風習をとらえた写真の公募展を開催する。	共催

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	内 容	事業区分
とよた定点観測	4月	調査、資料収集 毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録する。 (豊田アーカイブ 視聴覚ライブラリーと連携)	自主
文化情報誌 「カレント」発行	季刊	調査、資料収集 市内で開催されるあらゆる文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報の提供を行う。	自主
CATV文化情報番組制作 「豊田文化アワー」	通年	調査、資料収集 地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作、ひまわりネットワークで放映し情報の提供を行う。	自主

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	内 容	事業区分
豊田市少年少女合唱団 運営	通年	体験活動等 定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	受託
豊田市ジュニア マーチングバンド運営	通年	体験活動等 定期演奏会、マーチング三河大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	受託

2 市民文化会館

豊田市の文化・芸術の拠点施設として、文化・芸術の創造発信と賑わいを創出し、全ての市民が文化・芸術に親しむ機会を提供し、市民文化会館の存在感向上に努めます。また、市民による主体的な文化・芸術活動を支援するとともに、市民のニーズにきめ細かく対応できるよう、施設の管理・運営の工夫を進めていきます。

■事業

大・小ホールそれぞれの鑑賞空間を有効に活用し、音楽・古典芸能・演劇・講演など様々なジャンルの鑑賞事業を開催し、全ての市民が文化・芸術に親しむことのできる機会を提供します。平成26年度は、市民に好評な事業は引き続き実施するとともに、新しい事業として「歌舞伎事業」、「避難訓練コンサート」、「舞台ウラ探検」にチャレンジします。

■施設運営

職員個々の能力を高め、利用者に施設の効果的な利用方法を助言するなど内容の濃いサービスの提供、市民ニーズへのきめ細かな対応、そして、公平で公正な施設運営を目指します。また、施設・設備等の点検を強化して、「安全」、「安心」、「快適」な施設を提供していきます。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
ディズニーライブ 「ミッキーのザ・マジックショー」	8月23日 8月24日	主催公演	ディズニーの人気キャラクターによる楽しいミュージカルを実施し、親子で舞台芸術に親しむ機会を提供する。	自主
歌舞伎事業	9月27日	主催公演	世界に誇る日本芸術の財産である歌舞伎を初めての方でも気軽に低料金で楽しんでいただく機会を提供する。	自主
文化講演会	2月	主催公演	「お茶と花と文化講演の集い」の文化講演会について、市民ニーズにあった講師を招き、様々な文化について考える機会を提供する。(文化事業課と連携)	自主
避難訓練コンサート	3月	主催公演	より安全な管理運営を目指して、お客様や演奏者にもご協力いただき、より実際に近い状況の中で訓練を行うことで、職員の危機対応能力の向上を図るためのコンサート。	自主
とよた寄席	未定	主催公演	日本が誇る伝統芸能である落語、市民ニーズの高い噺家を招き、良質な伝統文化を堪能する機会を提供する。	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

舞台ウラ探検	年3回	自主公演	文化施設に触れるきっかけづくり、また市民文化会館への親しみやすさをアピールする。イメージとしては、気軽に体験できる工場見学の市民文化会館バージョン。	自主
映画塾	年3回	自主公演	映画の鑑賞を通じて映画の素晴らしさを知り人生を豊かにする。(文化事業課、視聴覚ライブラリーと連携)	自主
農村舞台 アートプロジェクト2014	8～3月	博物館等の展示	農村舞台を使いシンポジウム、フェスティバル、アート展、ライブを開催する。(文化事業課と連携)	共催
こころの劇場 劇団四季ミュージカル	未定	主催公演	子供たちが演劇を鑑賞し感動することで、「生きることの素晴らしさ」「人を思いやり、信じあう喜び」について学び、道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた舞台芸術に触れる機会を通じて、子どもたちの豊かな感性の育成を図る。(豊田市、劇団四季との共催事業)	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
舞台芸術人材育成事業 とよた演劇アカデミー	5～2月	講座、 セミナー、 育成	演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座を開催する。(文化事業課と連携)	共催
文化活動者派遣事業	6～12月	体験活動等	文化活動者と市内の児童生徒が文化芸術と出会う機会を提供し、学校教育の総合学習に協力するとともに、文化芸術活動の普及に貢献する。(豊田市文化振興計画に基づく新ジャンルのアウトリーチモデル事業の実施) (文化事業課と連携)	共催

利用予定

○市民文化会館

施設名	件数	人数	利用内容
大ホール	180	160,000	演奏会・講演会・研究大会等
小ホール	230	60,000	ピアノ発表会・講演会等
展示室A	130	30,000	絵画・彫塑・書道・花展等
展示室B	160	25,000	〃
リハーサル室・練習室	700	35,000	音楽・舞踊等各種リハーサル
会議室・和室	300	7,000	茶華道・会議等
計	1,700	317,000	

○市民ギャラリー

施設名	件数	人数	利用内容
展示室A・B・C	350	25,000	絵画・彫塑・書道・花展等

○総合計

総合計	2,050	342,000	
-----	-------	---------	--

3 視聴覚ライブラリー

地域文化に関する調査及び情報の収集を行うとともに、今までに情報収集した映像のデジタル化の選別作業を行い、映像教材として保存活用を図ります。また、映像媒体を有効活用するための各種講習会等を通じて、市民に視聴覚機器の普及を図るとともに、市民自らが取得した技術を活かしたボランティア活動により、調査及び情報の収集の発展につながるよう事業の展開を図ります。

■事業

継続的な文化の伝承を目的に、人物記のPRや、地域の伝統文化などの記録を収集します。また、各種講習会などを通して視聴覚教材や機材への関心を高め、映像ボランティアの育成にも力を注ぎます。収集した映像情報は「視聴覚たより」、「視聴覚教育要覧」、「ホームページ」、「子ども映画会」などの活用により、市民を始め、学校教育現場、生涯学習分野（交流館・子ども会等）へ広く発信することに努めます。特に「映画塾」、「ビデオコンテスト」、「定点観測」の事業では、文化事業課、市民文化会館と連携を図りながら事業を推進します。

■施設運営

視聴覚教材、機材に精通するための職員研修をすすめ、利用者の支援などきめ細かな市民サービスに努めます。また、市民の文化活動を推進するため、利用者の皆様が、快適で安全にご利用していただけるよう、常に良好な状態を維持するとともに、市民の皆様により親しまれるよう、市民ニーズに沿ったサービスの提供と利用促進を目指します。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
ロビー展示	通 年	博物館等の展示	利用者の活動内容を紹介し、作品等を展示する。	自主
映画塾	年3回	自主公演	映画のレクチャーを通じて人生の喜びや悲しみを知り、感動を得る教養講座。 (文化事業課、市民文化会館と連携)	自主

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
第26回とよたビデオコンテスト	12月	表彰、コンクール	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催する。(文化事業課と連携)	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
とよた定点観測	4 月	調査、資料収集	毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録する。 (豊田アーカイブ 文化事業課と連携)	自主
とよたの人物記 アニメPR事業	8 月	調査、資料収集	とよたの人物記を広くPRするため、人気アニメを同時上映する『子ども映画会』を実施し、参加者増を図る。	受託
ビデオ講習会他 各種講習会事業	通 年	講座、セミナー、 育成	視聴覚機器活用の裾野を広げるために、ビデオ講習会などを実施し、記録映像等の活用を促進する。	受託
視聴覚たより及び 視聴覚教育要覧	たより月1回 要覧年1回	調査、資料収集	ライブラリー情報として、毎月発行のたよりと、前年度の記録を中心とした要覧を発行することにより、ライブラリー利用の促進をする。	受託
映像教材の収集、 保管と活用	通 年	調査、資料収集	地域の伝統文化や芸能、それを担った人たちなどの映像記録を収集するとともに、現在保有している教材等のデジタル化のための選別作業を行う。	受託

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
編集スタジオ	800	1,000	CDコピー・16ミリフィルム・VTR編集
教材・機材貸出	1,600	(1,800本)	プロジェクター・16ミリフィルム等貸出し
集会室・研修室 等	3,400	64,000	会議・研修会・講演会等
計	5,800	65,000	

4 コンサートホール・能楽堂

豊田市の音楽、伝統芸能の拠点施設として『本物の芸術・文化との出会い』、『伝統文化の継承』、『市民参加による芸術・文化の創造』を3本柱に、独自性のある魅力的な事業を展開し、音楽文化の向上と伝統文化の継承に努めます。

■事業

世界的な一流の公演と親しみやすい公演のバランスを重視しながら、独自性の高い事業企画を目指すとともに、音楽団体や保存会等との共働により、地域文化の創造につながる事業を展開していきます。また、子どもから高齢者まで気軽にクラシック音楽や伝統芸能を楽しく体験できる事業を提供し、文化・芸術に興味を持つ市民層の拡大を図ります。

■施設運営

市民の文化活動の促進を図るため、利用手続や利用方法において利用者側の立場に立った助言・指導を行い、利用率向上を図るとともに、利用者に施設運営・設備に関するアンケートを実施し、意見・要望を把握、より使いやすい快適な施設運営に努めていきます。

事業一覧

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
さつき能 事前講座	4月20日	自主公演	講師／田崎未知（能楽研究科）	共催
さつき能	5月5日		能「俊寛」／辰巳満次郎（宝生流） 狂言「牛盗人」／井上松次郎（和泉流） を開催する。	
オペラ・コミック	5月10日	自主公演	イタリア・オペラ集団《アマルコルド》 による、オペラ歌手・アコーディオン・ピアノによる爆笑オペラショーを 開催する。	共催
カザルス弦楽四重奏団	5月25日	主催公演	チェロの巨匠カザルスの名を持ち、輝 かしい国際コンクール受賞歴を誇る スペインの弦楽四重奏団のコンサ ートを開催する。	共催
能と吉野 事前講座	5月31日	自主公演	講師／武田大志（観世流能楽師）	共催
能と吉野	6月29日		朗読劇「額田王と吉野」主演：松坂 慶子、講演：上野誠 能「二人静」／梅田嘉宏（観世流） を開催する。	

※事業区分について：自主—当財団独自の事業、共催—豊田市との共催事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

アルド・チッコリーニ ピアノ・リサイタル	6月15日	主催公演	世界を代表するピアノの巨匠アルド・チッコリーニの88歳記念リサイタルを開催する。	共催
ザ・フィルハーモニクス	6月21日	主催公演	ウィーン・フィルとベルリン・フィルの若手実力奏者7名による弦楽・クラリネット・ピアノのエンターテインメント性にあふれたアンサンブルの公演を開催する。	共催
ダニエル・ロート オルガン・リサイタル	7月6日	自主公演	パリのサン＝シュルピス教会の巨匠オルガニストによるパイプオルガン・リサイタルを開催する。	共催
世界音楽の旅シリーズ アイリッシュ&ケルト音楽	7月12日	自主公演	世界中の本場の音楽をお届けするシリーズ。今回は、アイルランドからフィドル、ホイッスル、ダンスも交えたモニハンブラザーズ&シスターズによるアイルランド音楽の公演を開催する。	共催
おいでんまつり花火との コラボレーション企画 「江戸落語と花火の夕べ」	7月27日	自主公演	落語「たがや」古今亭志ん輔、紙切り林家正楽を楽しんだ後に、おいでん花火を柵席で鑑賞いただく企画を開催する。	共催
夏休み親子で楽しむ わくわく能楽体験	8月17日	自主公演	公演鑑賞とワークショップで能楽に親しむ親子向けイベントを開催する。	共催
ろうそく能 事前講座	8月9日	自主公演	講師／羽多野良子（金剛流能楽師）	共催
ろうそく能	9月6日		能「葵上」／金剛永謹（金剛流） 狂言「狐塚 小唄入」／善竹忠一郎（大蔵流）を開催する。	
日本の歌シリーズ 藍川由美の 「歌の寺子屋～和琴編～」 in 能楽堂	9月13日	自主公演	能楽堂で、日本最古の絃楽器「和琴・倭琴」の伴奏による古代歌謡を聴き、今様・民謡・わらべうたを一緒に歌う聴衆参加型公演を開催する。	共催
豊田市民 クラシックコンサート	9月20日 ・21日	自主公演	市内在住・在勤・在学・出身のクラシック音楽演奏愛好家によるコンサートを開催する。	共催
能楽堂で見る日本の伝統 芸能シリーズ30 （仮称）「神と人の芸能」	9月	自主公演	金沢芸能、軽井沢の追分馬子唄、伊勢大神楽など各地の郷土芸能を楽しむ公演を開催する。	共催
藤原歌劇団 オペラ「愛の妙薬」	10月5日	自主公演	日本を代表する歌劇団による名作オペラ公演を開催する。	共催

ファジル・サイ ピアノ・リサイタル	10月13日	主催公演	トルコの鬼才ピアニストによるピアノ・リサイタルを開催する。	共催
カナディアン・ブラス	11月1日	主催公演	40年の歴史を持つ世界一有名な金管五重奏団によるパフォーマンス豊かなコンサートを開催する。	共催
霜月能 事前講座	10月	自主公演	講師/未定	共催
霜月能	11月2日		能「邯鄲」/梅若紀彰(観世流) 狂言/野村又三郎(和泉流)を開催する。能でイヤホンガイドも実施。	
マレイ・ペライア& セント・マーティン・ アカデミー管弦楽団	11月15日	主催事業	ピアノの巨匠マレイ・ペライア率いる、英国の精鋭メンバーによる名門オーケストラの12年ぶりの来日コンサートを開催する。	共催
市民演能会	11月22日 ・23日	自主公演	能楽愛好家の方々に発表の場を提供する市民参加型事業を開催する。	共催
能楽堂で見る日本の伝統 芸能シリーズ31 (仮称)「北と南の伝説」	11月	自主公演	北海道アイヌの語り、琉球のオモロなど伝説の語りを楽しむ公演を開催する。	共催
小曾根真 ピアノ・リサイタル	12月6日	主催公演	ジャズピアノの名手小曾根真のピアノ・リサイタルを開催する。	共催
狂言づくし	12月13日	自主公演	野村万蔵家による狂言3演目を開催する。	共催
コンサートホール・ フェスティバル	12月21日	自主公演	コンサートホール全館を公開して、ワークショップ、楽器体験、演奏会を開催する。	共催
ウィーン・シュトラウス・ フェスティバル ・オーケストラ ニューイヤー・コンサート	1月10日	主催公演	大人気ペーター・グート率いるウィーンのオーケストラによる、サービス精神溢れるニューイヤー・コンサートを開催する。	共催
新春能 事前講座	12月	自主公演	講師/未定	共催
新春能	1月12日		能「西行桜」/本田光洋(金春流) 狂言「仏師」/茂山千三郎(大蔵流)を開催する。能でイヤホンガイドも実施。	
ウィーン&ベルリン リサイタル・シリーズ	1月11日 18日	自主公演	① ベルリン・フィルコンサートマスターの榎本大進によるリサイタル ② ウィーン・フィルコンサートマスターのR.ホーネックによるリサイタルを開催する。	共催

名古屋フィルハーモニー交響楽団 豊田市コンサートホール シリーズ VOL. 2	2月14日	主催公演	名フィルが豊田市コンサートホールを会場にして行う豊田演奏会を開催する。名フィルとの共催。	共催
フィンランディア 男声合唱団	3月8日	主催公演	北欧の合唱王国フィンランドの男声合唱団によるコンサート開催する。	共催
特別公演 事前講座	2月	自主公演	講師／未定	共催
特別公演	3月15日		能「楊貴妃 台留」／片山九郎右衛門（観世流）、狂言「佐渡狐」／山本則俊（大蔵流）を開催する。能でイヤホンガイドも実施。	
徳岡めぐみ オルガンコンサート	3月	自主公演	コンサートホール・オルガニスト徳岡めぐみによる企画・構成・演奏のコンサートを開催する。	共催
とよた フレッシュコンサート	3月	自主公演	平成24～26年に音楽専攻の大学を卒業した新人演奏家によるコンサートを開催する。	共催
ロビーコンサート	通年	自主公演	市内各地で市民演奏家によるコンサートを開催する。（参合館ロビー、市役所ロビー、出前コンサート等）	共催
かーるクラシック イブニングコンサート	年6回	自主公演	クラシックの名曲を気軽に親しむ60分のイブニング・コンサートを開催する。	共催
お昼のパイプオルガン コンサート	年5回	自主公演	気軽にパイプオルガンの魅力に親しんでもらう60分のランチタイム・コンサートを開催する。 4回はパイプオルガン、1回はチェンバロのスペシャルコンサート。	共催
アウトリーチ	年15回程度	自主公演	招聘アーティストを市内の小中学校などへ派遣し、児童・生徒との交流や演奏、指導などを行う	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
オルガン演奏体験講座	8月	体験活動等	コンサートホールのジョン・ブランボー社製オルガンを実際に演奏することのできる体験講座を開催する。	共催
能楽入門講座	2月	体験活動等	狂言、お囃子、謡、仕舞などの体験・習得講座を開催する。	共催
歌の昭和史 ～みんなで歌おう 懐かしい歌を～	年4回	講座、セミナー、 育成	学校唱歌・童謡・叙情歌など、懐かしい歌のオリジナルを聴き、一緒に歌う聴衆参加型講座を開催する。	共催
能狂言が見たくなる講座	年4回	講座、セミナー、 育成	様々な視点から能・狂言の魅力に迫る講座を開催する。	共催
パイプオルガンを 楽しむための講座	年3回	講座、セミナー、 育成	オルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうための映像と演奏を交えた講座を開催する。	共催
ふらっと能楽堂	年3回	講座、セミナー、 育成	気軽に能楽・伝統芸能に親しむための初級者講座を開催する。	共催

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
豊田市ジュニア オーケストラ運営	通年	体験活動等	年2回の定期演奏会のほか、地域への訪問演奏などの活動を行う。	受託

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
コンサートホール	195	58,000	コンサート等
能楽堂	65	14,500	能・狂言・その他邦楽等
多目的ルーム	100	4,800	講座・講演・ピアノ発表会等
リハーサル室 等	450	5,200	音楽・能・謡曲等のリハーサル
計	810	82,500	

5 青少年センター

青少年健全育成の拠点施設として、青少年の育成支援・社会参加活動を支援します。また、ひきこもりや未婚・晩婚化など青少年課題に対応する事業を推進します。さらに、大学生を含めた青年スタッフの活用、青少年団体・青年サークルとの連携協力体制を確立し、共働による事業を展開するとともに、「豊田市子ども会育成連絡協議会」、「豊田市青少年団体傷害互助会」の事務局機能の強化維持を図ります。

■事業

青少年の育成支援として、未婚・晩婚化やひきこもりなどの課題に対応する自立支援事業を推進し、同時に青少年の居場所づくりを展開します。さらに青少年の自発的な社会参加を支援する青少年指導者養成事業、そして地域と青少年をつなぐ「むすぶネット」事業を展開します。また、青少年団体の振興・発展に資するサークル団体支援事業として子ども会事務支援、活動の安全意識向上と傷害見舞金給付のための青少年団体傷害互助会やサークル育成事業など、事業の充実を図ります。

■施設運営

改善運動への全員参加、危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・利用者アンケートの実施など、市民の安全・安心・快適な利用のために、効率的な管理運営と市民サービス向上に努めます。また、メール配信登録者への情報提供、ホームページの充実や利用相談窓口の整備など、情報発信機能の向上を図るとともに、職員の専門知識・能力向上のため専門研修への参加や職場研修を推進します。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
ジュニア文化講座	6～1月 6回	講座、セミナー、 育成	小・中学生が茶華道の体験学習を通して伝統文化に親しみ、マナーと礼儀を身につける。(一部文化事業課と連携)	自主
出会いの料理教室	6～9月 11～2月 2期各5回	講座、セミナー、 育成	男女が共同で取り組む料理を通して出会いの場を提供する。	共催
アウトドア講座	6～2月 9回	講座、セミナー、 育成	野外活動やスポーツの体験学習を通して、青年リーダーの育成と仲間づくりを図る。	共催
出会いのイベント	6月	体験活動等	交流館との連携により、ものづくりを通して結婚を真剣に考える若者に出会いの場を提供する。	共催
大学生支援講座	8月・12月 2回	体験活動等	将来の生活環境に関わる課題に大学生が取り組み、活動を支援する。	共催
インターンシップ事業	8月・3月 2回	体験活動等	近隣の大学との連携により、学生の社会教育学習のサポートを行う。	共催

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

レクリエーション 指導者養成講座	9～2月 4回	講座、セミナー、 育成	レクリエーション団体との共働により、子ども会や自治区などの催事におけるレクリエーションリーダーを養成する。	共催
ダンス教室	9～11月 6回	講座、セミナー、 育成	青少年サークルとの連携により、青年のニーズに応えたダンスの講座を開設し、サークル育成を図る。	共催
センスアップセミナー	11月 1回	講座、セミナー、 育成	エチケットやメイクの基本などを学び、社会人としての基本的なマナーを習得する。	共催
クリスマスパーティー	12月	体験活動等	クリスマスの季節を活かし、結婚を真剣に考える若者に出会いの場を提供する。(青年による企画運営)	共催
新春出会いのイベント	1月	体験活動等	青年が企画し、新春の季節における男女の出会いの場を提供する。	共催
ミニパーティー	2月	体験活動等	結婚を真剣に考える若者に気軽に参加できる出会いの場を提供する。	共催
高校生ボランティア スクール	5～3月 各コース 13回	講座、セミナー、 育成	様々なボランティア活動や地域、社会参加を体験し、人とのふれあい・語りを通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成する。保育コース・福祉コース・レクコース・ものづくりコース(総合野外センター、産業文化センターと連携)	受託
中学生ボランティア 体験教室	6～11月 3回	体験活動等	様々な分野のボランティア活動の基礎知識を学ぶとともに、体験学習する機会を設けることにより、ボランティア活動に対する芽を育む。	受託
自立支援者養成講座	7月・2月 2回	講座、セミナー、 育成	社会生活に不安を持つ若者の支援者を養成し、支援講座や相談会で活動する。	受託
自立支援講座	11月 2回	講座、セミナー、 育成	社会生活に不安を持つ若者に対して自立を支援する学習の機会を提供する。	受託
フリーサロン	通年	体験活動等	学生による小・中学生の学習支援と、青年がくつろげる若者サロンづくり。	受託
卓球・インターネット等 開放事業	通年	体験活動等	施設の空き時間を活用した卓球の開放及びロビーのインターネットの開放。	受託

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
豊田市青少年団体 傷害互助会事業	通 年	その他	青少年団体活動の安全確保と事故防止のため、安全意識の高揚を図るとともに、不慮の事故に対して見舞金等の給付を行い、青少年団体の支援を行う。	自主
平成26年度 財団青少年表彰	6月	その他	青少年健全育成に優れた業績を挙げた団体、功労者を称える。	自主
ユースサポーター講座	9～12月	その他	青年が社会的に自立した市民になるための支援者を養成する。	自主
青少年団体キャンプ 看護師派遣	通 年	その他	総合野外センターとの連携により、加入青少年団体宿泊キャンプ活動の安全を図る。(看護師派遣)	自主
うめつぼちびっこ 合唱団支援	通 年	その他	梅坪台交流館との共働により、小学校低学年を対象とした合唱団を支援する。	自主
サークル広報事業	年2回	その他	青少年センターを拠点にして活動するサークル・団体のための広報誌を発行する。	共催
青少年団体共働事業 「とよたキッズタウン」	11月	その他	青少年サークルや青少年団体との共働により、子ども対象とした交流事業を企画・実施し、青少年団体間の相互協力体制を強化する。	共催
自立支援相談会	4～3月 毎月3回	相談・助言	社会生活に不安を持つ若者に対して心理カウンセラーによる自立支援の相談を行う。	受託
レクリエーション団体 指導者派遣	通 年	相談・助言	レクリエーション団体代表者の会議を開催して情報交換を行うとともに、子ども会などへレクリエーション指導者を派遣し、活動支援を行う。	受託
青少年サークル派遣	通 年	相談・助言	さまざまな特技を持つ登録青少年サークルを地域活動等に派遣し、青少年の社会参加・活動支援を行う。	受託
子ども会事務支援	通 年	相談・助言	豊田市子ども会育成連絡協議会の会計事務を中心とした事務支援を行い、市子連の活動を推進する。	受託

利用予定

○青年センター（1F）

施設名	件数	人数	利用内容
集会室・音楽室・軽運動室等	2,800	28,000	会議・バンド練習・卓球・ダンス等

○勤労青少年ホーム（２Ｆ）

施設名	件数	人数	利用内容
大会議室・視聴覚室 等	1,900	30,000	会議・研修会・映画会・茶華道 等

○その他

施設名	件数	人数	利用内容
団体室・ロビー 等	300	32,000	登録団体作業・会議・たまり場 等

○総合計

総合計	5,000	90,000	
-----	-------	--------	--

6 総合野外センター

野外活動の拠点施設として、こども園、幼稚園、小学校、中学校のほか、子ども会などの青少年団体の野外体験学習の受入れや活動指導を通して青少年の健全育成を図ります。また、施設を利用する団体に「豊かな自然がある」、「宿泊できる」など、施設の特徴を活かした魅力ある活動プログラムが提供できるように、学校と連携した「絆づくりプログラム」や自然環境を活かした活動プログラムの開発、星空観察やナイトハイキング、キャンプファイヤーなどの夜間活動プログラムの充実に努めます。

■事業

子どもの「生きる力」を高めるための事業を積極的に行います。学校の教育課程に位置付けられた小学校のキャンプ、中学校の宿泊学習では、事前打合せに基づく直接指導を通して目的の達成を支援します。「チャレンジキャンプ」、「山の子学級」、「六所のつどい」では、参加した子どもたちが、自然のすばらしさを感じたり、学年の枠を越えた集団による活動のなかで、思いやりの心や協力性を身につけたりする機会とするため、学校のキャンプでは体験できないような活動を企画・実施します。「親子deキャンプ」や「ファミリーキャンプ」では、野外活動を通して親子の触れ合いや家族間交流の場を提供します。また、他施設と連携した事業「応援アウトドア」などを実施します。

■施設運営

学校以外の青少年団体の利用を促進するため、利用希望団体が多い夏休み期間中の月曜日を開館し、利用受入枠の増加に努めます。また施設面においては、利用者が安全に施設を利用できるように、利用者の目線で施設、設備の点検を実施し、不具合が見つければ早急に対応できる体制づくりに努めます。あわせて、施設の営繕や自然環境の保全作業についての自主管理能力の向上に努め、経費の縮減を積極的に図ります。また、食堂の効率的な運営を図るために委託業者との連携を密にして進めます。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内容		事業区分
六所星空ウォッチング	年3回	体験活動等	空気が澄む秋・冬期を中心に天体観測と解説を行う。	自主
アウトリーチ事業 応援アウトドア	年3回	体験活動等	他施設主催講座への企画協力や職員の講師派遣を通してミニ野外活動体験会等の活動支援を行う。	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業

ファミリーキャンプ	年8回	体験活動等	家族に総合野外センターの施設を開放し、自主的な野外活動を通じて自然に親しみ家族の触れ合いを深める。冬季には地元講師を招いて、そば作り、和紙工作等を実施する。	自主
高校生ボランティア スクール	年8回 程度	講座、セミナー、 育成	高校生にキャンプスタッフのボランティア体験の機会を提供する。 (青少年センターと連携)	自主
キャンプスタッフ トレーニングキャンプ	5月・6月 10月	講座、セミナー、 育成	総合野外センターのキャンプスタッフとして活動をする人を対象に、野外活動の基礎的な知識やプログラム(野外炊事、クラフト、もちつき等)を実践から学び、意欲的なスタッフの養成を図る。	共催
山の子学級	6～11月 年5回	体験活動等	同じ仲間とともに協力して活動することで、人間的な関わりを深めながら、自然の豊かさや大切さを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供する。春から秋の半年間で実施する。	共催
チャレンジキャンプ	8月	体験活動等	普段の生活から離れた4泊5日の長期キャンプを通じて、野外プログラム(シャワークライミング、ハイキング、クラフト等)を体験し、直面する様々な課題を仲間とともに解決していく中で、社会性や豊かな人間性を育む。また、学校長期キャンプ実施を視野に、継続的な資料蓄積を図る。	共催
六所のつどい	9月・12月 ・2月	体験活動等	活動時期に応じた自然体験、野外活動体験、クラフト活動を企画し、自然の素晴らしさ、大切さを知るとともに、集団活動の中で仲間作りや協力することの意義を学ぶ。	共催
キャンプインストラクター 養成講習会	3月	講座、セミナー、 育成	日本キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成する。(キャンプ協会公認インストラクター資格試験受講対象)	共催
親子deキャンプ	年4回	体験活動等	野外活動の楽しさを体験しながら野外活動への興味を深め、親子の触れ合いや参加した家族間の交流を図るプログラムを提供する。 ※9月はキャンプ場、その他の時期は自然の家宿泊で開催する。	共催

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
少年自然の家	200	24,500	宿泊研修等
青少年キャンプ場	440	35,700	野外活動等
運動広場	50	7,200	軽スポーツ等
資料館	20	800	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	110	11,700	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	60	4,100	軽スポーツ・雨天時等の活動等
計	880	84,000	

7 産業文化センター

市民の文化活動や民間企業の団体活動など多様な利用者ニーズに対応し、複合施設としての特色を活かし、きめ細かな施設運営を目指します。また「とよた科学体験館」は、市内唯一の科学教育の拠点施設として、幅広い年齢層の市民が気軽に科学に触れられる生涯学習の機会の拡充に努めます。更に青少年の科学に対する好奇心が深められるよう、専門性を活かした事業を積極的に開催します。

■事業

サイエンス事業では、小学5・6年生を対象とした「サイエンスクラブ（中級）」を実施します。これにより既存の「サイエンスクラブ（小学3・4年生対象）」と合わせ、学年に応じた事業の体系化を図ります。また8年間続いた「サイエンススクール」を「スーパーサイエンススクール」としてリニューアルします。単なるサイエンスショーの発表会にとどまらず、学習会や地域貢献等も行い、中学・高校の科学部との連携をさらに深めます。

プラネタリウム事業では、新規事業として、好評の「星空散歩ライブ」やプラネタリウムの利用層を拡大するため「子育て支援投映」、「国際交流投映」を行います。また「小中学生天文クイズ」では交流館との連携を図りながら実施します。

■施設運営

管理と事業の一体的運営を目指し、施設の機能を最大限に発揮するとともに、ソフト事業の専門的な知識や経験を活かし、民間や行政では実施することが難しい財団独自の事業を展開します。また、CSアンケートなどから利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応を心がけることにより利用者満足度（CS）の向上を目指します。経費の縮減と安全管理に対しては、職員一人ひとりが経営感覚を持って取り組み、市民から信頼される施設運営を行います。

事業一覧

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	内 容		事業区分
小中学生天文クイズ	予選5地区 決勝1回	体験活動等	予選を地区（各交流館）、決勝を体験館で行う天文クイズ大会を開催する。 （参加者3人×25組・見学140人） （交流館と連携）	自主
ミニワークショップ	毎週土・日 祝 日 夏冬春休み	体験活動等	短時間でできる簡単な工作教室を実施する。	自主
星を見る会	年4回	体験活動等	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を実施する。 （総合野外センターと連携）	自主

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

アストロクラブ 親子天体観測会	年2回	体験活動等	アストロクラブの会員家族を対象に 野外活動と天体望遠鏡での観望会を 開催する。	自主
高校生ボランティア ものづくりコース	年8回	講座、セミナー、 育成	ミニワークショップの指導やプラネ タリウム投映、展示品解説などの業務の お手伝いを行う。(8回×10人 青少 年センターと連携)	自主
ものづくりフェスタ 2014	年1回	体験活動等	ものづくりフェスタ実行委員会主催 のイベントに実行委員を派遣・出展協 力する。	自主
親子ものづくり講座	年12回 程度	体験活動等	ものづくりサポートセンター主催の 講座に対し、申込み受付、会場の提供 等の事業協力をする。	自主
コラボ事業	年5回	体験活動等	相撲甚句、フラメンコ等を実演、ポジ ャギ(韓国パッチワーク)の展示等を 各団体と行う。	自主
星空散歩ライブ	年4回	体験活動等	地元の演奏家などとのコラボレー ションで、音楽と映像と生解説の融合し たオリジナル番組を投映する。 (120人×年4回)	受託
プラネタリウム発表会	年1回	体験活動等	アストロクラブ(中級)優先で希望者 を募り、プラネタリウムで天文のプレ ゼンテーションとワークショップを 全参加者と保護者を観客として冬季 の親子観測会の昼間活動として実施 する。	受託
子育て支援投映	年2回	体験活動等	「ママとキッズのはじめてのプラネ タリウム」 暗さ・時間・内容を考慮した赤ちゃん 連れて観賞できる投映を実施する。 (60組×2人×3投映×2回)	受託
国際交流投映 「英語DE プラネタリウム」	年2回	体験活動等	英語による星空解説と最新鋭のデジ タル映像による宇宙空間などのCG 映像により、外国人向けの投映を実施 する。(50人×2回)	受託
プラネタリウム投映事業	通 年	体験活動等	とよた科学体験館の一般向け・こども 向け番組の投映、関連イベント開催に よる利用促進を行う。	受託
			市内のこども園年長児用の幼児番組 と小学4年生向け学習番組を投映す る。(学習投映)	受託
星空散歩	1回/週	体験活動等	オリジナル番組として制作し、生解説 で投映を行う。	受託
星空クルーズ and 天体観望会	2回/月 程度	体験活動等	オリジナル番組として制作し、生解説 と天体望遠鏡による観望会を行う。	受託

プラネタリウム コンサート ※星空コンサートを名称変更	年 1 回	体験活動等	プラネタリウムの星空のもと、星座解説やプロの音楽家の生演奏のコンサートを実施する。(1日2回公演)	受託	
アストロクラブ			子どもたちを対象にした天文教室。星の見つけ方や観測の方法などを学ぶ。	受託	
	初級コース	年 6 回	講座、セミナー、育成	天文の基礎知識や星座の見つけ方などを学ぶ。	受託
	中級コース	年 6 回	講座、セミナー、育成	望遠鏡の操作や活用の仕方を学ぶ。	受託
天文セミナー	年 2 回	体験活動等	天文や宇宙開発に関する専門家を講師に招いて講演を実施し、広く天文に関心を持ってもらう。	受託	
親子天文教室	年 2 回	体験活動等	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催する。	受託	
出前天体観測会	年 1 5 回	体験活動等	学校等に指導者を派遣し、持参した望遠鏡による天体観測会を実施する。	受託	
宇宙絵画展	通 年	体験活動等	園児が描いた宇宙・月・星座などの絵を募集し展示する。	受託	
スーパー サイエンススクール	通 年	体験活動等	中学・高校の科学部等呼びかけ、サイエンスショーに取り組み、体験館や地域でサイエンスショーを行う。 (学習会 1回×40人、体験館での発表(4校×10人+見学者100人)、出前派遣(4回×10人+見学者4回×50人)	受託	
サイエンスクラブ 中級コース	年 6 回	講座、セミナー、育成	小学5・6年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を行う。 (20人×6回)	受託	
サイエンスショー	毎 週 土・日	体験活動等	科学の原理を実験によって紹介する実験ショーを実施する。また、年2回、外部講師によるスペシャルサイエンスショーを開催する。	受託	
	平 日	体験活動等	市内のこども園、幼稚園、保育園、小学校の学習利用向けや一般団体向けにサイエンスショーを実施する。	受託	
	祝 日	体験活動等	身近な道具を使って、簡単な科学実験を紹介するテーブル実験ショーを実施する。(ワゴンサイエンスショー)	受託	
サイエンステラス	年 6 回	講座、セミナー、育成	大学等の教育機関と連携し、学生との交流や気軽に科学に触れるブースを開設する。	受託	

ワークショップ (初級・中級)	年18回	体験活動等	難易度に応じて「初級」・「中級」に分類し、1時間半から2時間で科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を実施する。	受託
サイエンスクラブ 初級コース	年6回	講座、セミナー、 育成	年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作を行う。	受託
出前科学講座 ※出前科学工作教室を名称変更	年6回	体験活動等	交流館等に出向き、科学的原理に基づく科学工作講座を行う。	受託
事業支援者育成事業	通年	講座、セミナー、 育成	天文分野、サイエンス・ものづくり分野の事業支援者の育成とサイエンスホール展示品の制作、活用を図る。	受託
指導者セミナー	年2回	講座、セミナー、 育成	理科教員等を対象にサイエンスショー、ワークショップの外部講師によるセミナーを実施する。	受託
夏休み自由研究相談会	夏休み 期間2回	体験活動等	夏休みの小・中学生の自由研究に関する展示と分野ごとに相談会を実施し、「科学する心」を育てる機会を提供する。(土日開催)	受託
ものづくりひろば	毎週 土・日	体験活動等	土・日曜日に、幼児から小学生の親子がものづくりの楽しさを体験する機会を提供する。	受託
喜楽亭茶会	年5回	体験活動等	茶友会や工芸協会と連携をとりながら、季節ごとに特色ある茶会を開催し、喜楽亭の利用促進を図る。	受託

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
小ホール	205	27,100	講演会・発表会
多目的ホール	255	34,000	展示会・研修会・パーティー等
大広間	40	1,900	展示会・研修会等
視聴覚室・応接室・会議室等	1,100	27,900	会議・研修会・打ち合わせ等
プラネタリウム	800	50,000	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	310	130,000	学習見学・一般見学等
喜楽亭	145	5,800	茶会等
その他	5250	164,400	中日文化センター等
計	8,105	441,100	

8 交流館

各交流館では、「地域課題の対応支援」、「地域住民の参画」を重要な視点として各地域の特色を活かした運営を目指すと同時に、地域活動・課題の解決支援のための相談事業にも力を注ぎます。

交流館の取り組みについては、交流館報・ホームページ・広報とよた・報道機関へ積極的に情報を提供し、効果的なPRに努めます。

■事業

各交流館では、市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供します。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮しあう場も提供します。人が輝き、環境にやさしく、躍進するまちを描きながら、「人づくり」、「地域づくり」、「生きがいつくり」、「地域活動の担い手づくり」の事業を、「ESD（持続可能な社会の担い手づくり）」の視点を取り入れながら展開します。

■施設運営

地域住民に愛され、生涯学習活動や地域課題解決の拠点施設となるよう、子どもからお年寄りまでの利用者が何を求めているかを把握し、職員全員で顧客満足の推進に努めます。また、業務に必要な専門的研修を実施することで、職員の資質向上を図ります。

事業一覧

【生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業】

○事業内容の区分：「講座、セミナー、育成」、「相談、助言」

事業区分：自主

交流館名	事業名	期 日	内 容
全交流館	小中学生天文クイズ	6月・8月	財団のスケールメリットを活かし、科学体験館と共働で小・中学生対象の天文クイズ大会を開催する。 (産業文化センターと連携)

事業区分：受託

交流館名	事業名	期 日	内 容
逢妻	家庭教育・ベビー講座	10～12月	乳児とのふれあい方、子育ての基礎習得、仲間作りを通して、育児不安を軽減する。
	子どもチャレンジ (夏編・冬編)	夏休み・冬 休み期間	自主グループが学んだ成果を活かし、講師として地域の小学生に伝え教える。
	大人チャレンジ・ はじめての一步	通 年	自主グループの学習成果を活かし、住民が地域活動をするきっかけづくりと学ぶ場を設ける。
	環境講座・ わくわく環境講座in女川	5～7月	地元の女川の生き物観察を通して、地域の自然環境や生き物に関心を高める場を設ける。
その他 11事業 / 総計 15事業			

※事業区分について：自主—当財団独自の事業、受託—豊田市から委託を受けて実施する事業

旭	もりもりキッズ 2014	8月	地域の子どもたちに、ものづくりの楽しさの体験と交流の場とし、交流館を身近に感じてもらう。
	あひる学級2014	5月・6月	未就園児親子の仲間づくり、情報交換の場を提供する。また、育児の不安や悩みの解決につなげる。
	出前講座・ げんきクラブ2014	9月・10月	高齢者のために地域へ出向き、生きがいつくり・仲間づくりを目的に、心と体の健康づくりをする。
	地域の味を伝えよう	7月	旬の食材を使った料理を学び、健康に留意した家庭料理を学びあい、幅広い世代の受講者の交流を図る。
その他11事業／総計15事業			
朝日丘	地域のたまり場づくり・ ひだまりサロン	通年	地域住民等が気軽に集える・活動発表・情報発信の場としてのサロンを継続し、担い手づくりを進める。
	ベビー講座	4月・5月	乳児の成長・発達に関する知識を身につけ、親子のふれあい方を学ぶことで、健やかな親子関係を築く。
	七つ町サポート	通年	地域団体のニーズ、取り組みを支援する。地域団体との共働、連携を図る。
	郷土史	5月・6月	歴史的、文化的資源のある散歩道を巡り、地域住民がより高い郷土への関心を持てるようにする。
その他11事業／総計15事業			
足助	中馬のおひなさんを 体験しよう！	2～3月	まちづくりの担い手となる子どもたちが「中馬のおひなさん」に積極的に参加し郷土を知る機会とする。
	絵てがみコンクール	2～3月	足助の地域行事「中馬のおひなさん」の一会場として、足助の魅力を発信し、地域の活性化につなげる。
	エコライフ講座	7月	日常生活の中で環境保全のために何ができるのかを考え、実行に移す意識を高める。
	防災講演会	1月	地域住民の防災意識を高める。安全・安心な地域づくりを図る。
その他13事業／総計17事業			
井郷	(仮)夏の体験講座	7月・8月	体験講座を通して交流館の利用拡大・自主グループの活性化・次に講師と成り得る人材の発掘を図る。
	サマーフェスタ	7月	身近な環境課題を地域住民と共に考えて、環境意識の高揚を図る。
	(仮)俺の時間	2月	交流館利用拡大で、新たに男性中心に日常的に集える場所を作り、そこから地域の担い手作りを図る。
	(仮)わくわくクッキング	5～11月	前年度の食育講座の発展として、食を通して人に喜んでもらう、楽しんでもらう交流の機会とする。
その他12事業／総計16事業			

石野	高齢者講座・ 石野シニア倶楽部	通 年	「いつまでも生き生きと学び続ける」をテーマに環境・福祉・健康・笑顔・仲間づくりを行う。
	地域防災講座	未 定	安心・安全なまちづくりを目指した地域や家庭の防災意識の向上と、地域の絆の大切さを学ぶ。
	子ども講座・ キッズダンス	6月・7月	小さい子どもを持つお母さんからの要望を受け、こども園、小学校帰宅後の子ども向け講座を開催する。
	マタニティ講座	5月	妊婦の不安減少を図るとともに、妊娠期から父親の子育て参加の意識付け、仲間づくりの支援を行う。
その他 12事業／総計 16事業			
稲武	キッズフェスティバル	8月	子どもだけでなく親や高齢者も参加・協力をしてもらい地域の交流、異世代の交流の場とする。
	稲武の歴史を知る	4～11月	稲武の歴史について学び、異世代交流をしながら広く住民に伝え、郷土愛の育成を図る。
	地域団体連携講座	4月・11月	商工会、観光協会など地域団体と連携し、まちづくりを支援する。
	サンデーサロン	2月・3月	音楽・芸能に親しみながら交流する場を提供する。文化的生活の向上を図る。
その他 11事業／総計 15事業			
梅坪台	わくわくチャレンジ	7月・8月	自主グループ、地域住民が持つ技術を、地域の子どもに教え伝え、異世代・地域交流を図る。
	子育て支援事業・ 子育てHOTサロン梅坪台	通 年	子育て・子育て・子縁をキーワードに、学びの場と位置付け、子育て時の育児不安や悩みの軽減を図る。
	縁側Café ひなたぼっこ	通 年	高年大学同窓生とともに、高齢者の居場所づくり、生きがいがづくり、仲間づくりにつなげる。
	月見の会	9月	仲秋の名月に合わせ『お月見の会』を開催し、地域住民のふれあいの場、異世代交流の場とする。
その他 12事業／総計 16事業			
小原	環境講座・ ホテルを視様(みよう)	4～8月	ホテルが飛ぶ「ふるさと」の自然の豊かさを感じ、地域づくりを考えるきっかけづくりをする。
	すくすく講座・ おばらっきー組	通 年	受講者の声を活かした企画として、体験活動を通して親子で交流できる場を提供する。
	コミュニティ事業・ 太鼓の達人	7月・8月	地域課題に取り組むとともに、異世代交流を通じ地域づくりのきっかけづくりをする。
	キッズクラブ	4～12月	地域の担い手づくりを目的に、地域講師とともに様々な体験活動の第一歩を踏み出す機会とする。
その他 10事業／総計 14事業			

上郷	k o k o r o つなぐ カフェ	通 年	地域資源や講師の発掘を図り、その知識や技能を地域に還元し、かつ気軽に「つどう」交流館を目指す。
	上郷 元気プロジェクト会議	4月・11月	自主グループと共働り、地域のためにできることを考え、学習成果の地域還元と地域力の向上を図る。
	歴史プロジェクト・ 上郷の戦国を楽しむ	11月	上郷に現存する歴史的遺産を学び、自分の住む地域の宝を知り、地域活動への意識を育てる。
	環境プロジェクト・ 矢作川を遊ぶ	7月	地域の自然を体感し、環境保全の考え方を学ぶとともに、将来の環境リーダーを育成する。
その他13事業／総計17事業			
猿投北	ほたるまつり2014	6月	ほたるウオークなどを通し、地域の自然環境の素晴らしさを知り、環境に対する意識・関心を深める。
	ドキドキフェスタ☆ 交流館へGO!	1月	今まで交流館を利用したことのない若い世代や子どもたちに交流館をPRし、利用者の拡大を図る。
	おかあさんの ホットステーション	5～12月	さまざまな体験を通し、交流を図りながら子育ての問題解決の一助とし、育児不安の軽減を図る。
	夏休み子ども講座・ 切り絵	夏休み	地域講師から切り絵の技法やカッターなどの使い方を学び、工作の楽しさを知ってもらう。
その他14事業／総計18事業			
猿投台	平戸橋写生大会	4月	写生大会を通して季節を感じながら、猿投台地域の良さを知る機会とし、世代を超えた交流を目指す。
	(仮) お抹茶でおもてなし	8～10月	小学生から高校生を対象に、茶道を通じた「おもてなし」の心を育み、伝統文化をつなぐ人材を育てる。
	環境講座・ (仮)川を知る	7月	自然環境や保護活動について、親子で体験を通して学び、家庭における環境配慮の意識付けを図る。
	(仮) Happyガーデニング	5～12月	園芸活動を通じ、潤いのあるまちづくりに関わる人材を育て、花のある交流館を目指す。
その他14事業／総計18事業			
下山	下山探訪講座・ 下山の史跡めぐり	6月	下山の史跡を訪ね、地域を知るとともに、地域講師の活用と自主グループより講師後継者の育成を図る。
	親子ふれあいひろば	5～9月	季節の行事にふれながら、親子のふれあいと子育ての情報交換、母親の仲間づくりの支援をする。
	下山成人大学	7～12月	市政や健康など、身近な題材を通して高齢者の好奇心を刺激し、参加者の関わりを深める場とする。
	親子食育講座	12月	親子で伝統料理について学び、下山に伝わる料理を通して地域を知る機会とする。
その他11事業／総計15事業			

末野原	地域の生き物を 調べよう	8月	地域の小学生親子を対象に、道端や川辺の調査活動を通して、地域の環境に目を向ける。
	育メン講座	7月	父親と子どもに焦点をあて、父親として子どもとのふれあい方を学び、併せてパパ友作りを支援する。
	子育て世代の ライフプラン	2月	目まぐるしく変化する世の中「生活設計と備え」を学び、この時期のライフプランニングを学ぶ。
	防災料理	6月・11月	地域住民に広く防災の知識を広めるとともに防災への関心を高め、次世代の担い手作りにつなげる。
その他15事業／総計19事業			
崇化館	親子で防災 ～地震対策～	7～9月	震災の知識を知り、防災への関心を深め、家族の防災基盤をつくり、地域で活躍できる人材を育てる。
	The Challenge 夏休み	8月	交流館利用グループの学習成果の地域還元の場とし、地域の子どもたちとの異世代交流の機会とする。
	陶工房「崇化館」	10月	館の特徴を活かした陶芸を気軽に体験してもらうことで、新しい趣味のきっかけと仲間づくりをする。
	なかよし大学	5～2月	高齢者が生涯現役で地域社会へ貢献する意識を高め、輝く人生を送るため仲間とともに学ぶ。
その他12事業／総計16事業			
高橋	家庭教育講座・ マタニティ教室	7～8月	初めての妊娠・子育ての不安の軽減と父親の育児参加を促し、夫婦が協力した子育てを学ぶ機会とする。
	輪・和サロン	6～12月	地域住民による運営委員会を中心に、交流館を利用して住民同士が教え、学び合う学びの輪を広げる。
	中学生講座	5～12月	地域の中学生がボランティアを学び、地域に関心を持って多くの人と係わり合いを持つ場とする。
	シニア世代の 生きがい講座	5～9月	健康づくりや生きがい発見、ボランティアや経済などを学びながら仲間づくりをし、地域活動に繋げる。
その他11事業／総計15事業			
藤岡	夏まつりをつくろう	6月・8月	地域の中・高校生が大人と一緒に子ども夏まつりに向けて企画・運営し、ボランティアの楽しさを知る。
	わくわく キッズパスポート	5月・7月	地域の恵まれた自然環境を活かした体験を通し、地域の方と交流しながら、地域の良さを体感する。
	シニア講座	10～1月	シニア世代に生きがいづくり・仲間づくりの機会を提供し、地域活動へのきっかけづくりの場とする。
	交流カフェ	通年	交流カフェ企画人会とともに企画・運営し、地域住民の交流と地域の人材を活かす場とする。
その他9事業／総計13事業			

藤岡南	マタニティ講座	7月	妊娠中を健康で快適に過ごす方法と、出産に向けての知識を夫婦で学ぶ。他にベビー講座も予定。
	親子創作イベント講座	7月・8月	コミュニティ会議との共催により、地域住民と子どもとの交流を図り、ものづくり体験の機会とする。
	ESD講座・(仮)ESDって知ってますか?	未定	ESD的視点を持って課題を共有することにより、意義や必要性を再確認し、場の提供と人材育成を図る。
	レッツ！チャレンジ講座 ①～③	未定	日頃、交流館に足を運ぶことのない世代にも講座を通して交流館への関心を高めてもらう機会とする。
その他8事業／総計12事業			
豊南	はじめまして！ ベビー教室	11月・12月	子育ての悩みや不安を解消し、母親が孤立することなく楽しく育児ができるよう支援する。
	豊南キラリ☆	通年	地域住民自ら企画した講座の機会を設け、講座実施のノウハウを伝え、学習成果を地域に還元する。
	地域の担い手づくり・おたすけスタッフJr.	通年	交流館や地域活動に中学生の活躍の場を設け、中学生に地域とのつながりや、やりがいを意識づける。
	豊南寿大学	5～12月	高齢者が必要な情報や知識を身に付け、地域で仲間とともに自立した生活ができる学習機会を提供する。
その他11事業／総計15事業			
保見	ベビー講座	11月・12月	初めての育児への不安を軽減するとともに、子育て支援と母親間の仲間づくりをする。
	ほみっこ夏まつり	8月	子ども同士が学区を超えた交流の機会とするとともに、未就学以下の親子のふれあいの場とする。
	環境講座	7月	地域を流れる川の生き物を調べるなど、身近にある自然環境について学び、環境への関心を深める。
	中京大後援講座	未定	地域にある中京大学で社会教育を学ぶ学生に「社会教育課題研究」の実践を通じた協力・支援を行う。
その他12事業／総計16事業			
前林	子育てぽっぽランド	通年	親子が気軽に集い、楽しく過ごせる場所の提供や、子どもたちの好奇心やコミュニケーション力を育む。
	みんなで遊ぼう in前林	7月・8月	ものづくりに興味、関心を持ってもらう機会を作り、作品ができあがった時の達成感を味わう。
	逢妻女川 講演とつり大会	6月・7月	前林地区を流れる逢妻女川の環境について学び、釣り体験を通して実態を知り、環境への理解を深める。
	Ma e・プランニング 講座	通年	地域の方から自主企画を募集、講師として活躍してもらい、仲間づくり・生きがいづくりを推進する。
その他22事業／総計26事業			

益富	ますとみゆるやか ネットワーク・情報交換会	通 年	ネットワークを広げることで、地域内交流や地域活動の活性化を図る。他にニュース紙も発行。
	ハッピーベビー	1月・2月	乳児の成長・発達、離乳食、緊急時の判断方法など、初めての子育てで必要な知識を学習する。
	ここでしか味わえない！ キャラ弁を作ろう	5月	地域の野菜などを使い、地域キャラ「くるみん」をモチーフにしたキャラ弁作りでキャラの普及を図る。
	益富のホタル	通 年	蛍をテーマに、地域の自然や環境保全活動を知り、地域に愛着を持つとともに、環境保全活動を知る。
その他6事業／総計10事業			
松平	紅葉の松平で歴史散策	11月	徳川家康公400年祭に合わせ、松平の自然を楽しみながら、徳川家発祥の地、松平の歴史を学ぶ。
	積木ひろば	年5回	親子で共同して積木をする作業を通じ、遊ぶ魅力を知るとともに、参加者同士の交流を図る。
	高齢者教室	5～12月	高齢者が生涯現役で生きいきとした人生を送られるよう、仲間とともに学び交流する場を設ける。
	続・イラストを描こう！	7月・8月	地域講師の活躍の場を設け、地域の活性化につなげるとともに、若者世代の学習意欲を支援する。
その他9事業／総計13事業			
美里	環境講座	未 定	地域の自然環境に関心を持つ場を設け、地域講師による学習を通して環境への意識を高める。
	こどものひろば	2月	地域の子どもに交流館を身近に感じてもらい、大人との交流を通して、小学生リーダーを養成する。
	みさとカルタ	8月・10月	地域の歴史を子ども目線でわかるように伝える手段としてのカルタづくりを通して、地域愛を育てる。
	高齢者教室・ 美里いきいき大学	5～12月	地域の高齢者が、健康や生きがいづくりに必要な内容について、自らの企画・運営を支援する。
その他10事業／総計14事業			
竜神	ウォーキング講座	未 定	地域会議にて整備されたウォーキングコースを歩き、まちぐるみでの健康づくりの機会とする。
	寿大学	6～12月	地域の高齢者に、生涯にわたる生きがいづくりや交流の機会づくりの場を提供する。
	やんちゃキッズ・ 2才児講座	6月・7月	2歳児の親子の学ぶ場を設け、友だちづくりや子育て中の母親の不安軽減を図る場とする。
	竜神子どもフェスタ	8月	地域の子どもたちに、大人との交流や新しい体験を通して学ぶ楽しさと達成感を味わう機会を提供する。
その他11事業／総計15事業			

若園	茶摘み茶れんじ	5月	製造工場見学や茶摘み体験を通し、若園地域で生産されているお茶を身近に感じるきっかけ作りをする。
	オトナの仲間作り	5～12月	定年世代を対象に市の施設や行政を学ぶとともに、手作りやものづくりを通じて仲間づくりをする。
	家庭教育講座	12月	小学生を持つ親を対象に子育ての専門家による講演等を行い、子育てについて学び、悩みを軽減する。
	環境講座・ 川の生き物調査	7月	逢妻男川に住む生き物の調査を楽しみながら行うことにより、川の環境や将来について考える。
その他14事業／総計18事業			
若林	わくわく チャレンジランド	夏・冬・春 休み	交流館の利用団体が学習成果を地域の子どもたちに還元することで、講師としての活躍の場を広げる。
	若林まちゼミ	通年	地域に埋もれた人材の持てる力を交流館で生かし、生きがいづくりにつなげ、知の循環をめざす。
	高齢者講座・ 縁ジョイ☆シニア塾	6～12月	高齢者が学びの中から生きがいを見つけ、その知識や特技を活かした交流や、地域で活躍する場とする。
	わかばやしカフェ	通年	地域の絆を深めるため地域住民が主体となり、カフェを通して交流を図り、地域課題の学習の場とする。
その他11事業／総計15事業			

利用予定

施設名		件数	人数	利用内容
逢妻交流館	会議室等	2,200	40,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	43,000冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	33,000	個人利用
旭交流館	会議室等	500	7,500	会議・研修・講座など
	図書室	7,000冊	2,000	図書の貸出し
	その他	—	5,500	個人利用
朝日丘交流館	会議室等	6,000	95,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	59,000冊	15,000	図書の貸出し
	その他	—	40,000	個人利用
足助交流館	会議室等	2,000	40,000	会議・研修・講座など
	図書室	16,000冊	3,500	図書の貸出し
	その他	—	30,000	個人利用
トレーニングセンター他 体育施設		2,000	31,000	グラウンド・テニスコート・体育館・ 弓道場利用等
井郷交流館	会議室等	3,500	60,000	会議・研修・講座など
	図書室	190,000冊	35,000	図書の貸出し
	その他	—	100,000	個人利用
体育施設		1,600	33,000	体育館・武道場

石野交流館	会議室等	1,600	18,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	11,000冊	2,800	図書の貸出し
	その他	—	25,000	個人利用
石野運動広場		500	20,000	グラウンド利用
稲武交流館	会議室等	1,000	11,000	会議・研修・講座など
	図書室	4,900冊	1,500	図書の貸出し
	その他	—	8,000	個人利用
梅坪台交流館	会議室等	4,300	65,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	52,000冊	13,000	図書の貸出し
	その他	—	31,000	個人利用
小原交流館	会議室等	1,700	30,000	会議・研修・講座など
	図書室	16,000冊	3,200	図書の貸出し
	その他	—	6,000	個人利用
上郷交流館	会議室等	5,000	100,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	230,000冊	42,000	図書の貸出し
	その他	—	200,000	個人利用
上郷公園		800	30,000	グラウンド利用
猿投北交流館	会議室等	1,900	30,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	19,000冊	4,300	図書の貸出し
	その他	—	25,000	個人利用
猿投台交流館	会議室等	2,200	33,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	36,000冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	21,000	個人利用
下山交流館	会議室等	800	15,000	会議・研修・講座など
	図書室	15,000冊	4,000	図書の貸出し
	その他	—	16,000	個人利用
末野原交流館	会議室等	4,000	64,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	90,000冊	21,000	図書の貸出し
	その他	—	60,000	個人利用
末野原運動広場		800	30,000	グラウンド利用
崇化館交流館	会議室等	6,800	90,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,000冊	10,000	図書の貸出し
	その他	—	50,000	個人利用
高橋交流館	会議室等	3,200	50,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	42,000冊	10,000	図書の貸出し
	その他	—	35,000	個人利用
高橋運動広場		900	8,000	テニスコート・ゲートボール場利用

藤岡交流館	会議室等	1,900	28,000	会議・研修・講座など
	図書室	23,000冊	5,000	図書の貸出し
	その他	—	30,000	個人利用
藤岡南交流館	会議室等	1,400	25,000	会議・研修・講座・など
	図書室	15,000冊	3,000	図書の貸出し
	その他	—	6,000	個人利用
豊南交流館	会議室等	4,500	80,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	120,000冊	26,000	図書の貸出し
	その他	—	22,000	個人利用
保見交流館	会議室等	3,800	71,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	132,000冊	28,000	図書の貸出し
	その他	—	36,000	個人利用
保見運動広場		1,600	36,000	グラウンド、テニスコート等利用
前林交流館	会議室等	2,500	33,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	19,000冊	4,300	図書の貸出し
	その他	—	12,000	個人利用
益富交流館	会議室等	2,800	43,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	42,000冊	10,000	図書の貸出し
	その他	—	26,000	個人利用
松平交流館	会議室等	3,100	50,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	37,000冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	42,000	個人利用
松平運動広場		500	15,000	グラウンド利用
美里交流館	会議室等	4,300	60,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	42,000冊	9,500	図書の貸出し
	その他	—	47,000	個人利用
竜神交流館	会議室等	3,500	65,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	80,000冊	16,000	図書の貸出し
	その他	—	43,000	個人利用
土橋公園		1,500	19,000	グラウンド・テニスコート等
若園交流館	会議室等	2,600	40,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	33,000冊	8,000	図書の貸出し
	その他	—	15,000	個人利用
若林交流館	会議室等	3,600	65,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	70,000冊	16,000	図書の貸出し
	その他	—	25,000	個人利用

9 教職員会館

教育関係職員等の研究・研修活動の拠点施設として、教育文化の振興に寄与することを目的とします。テニスコートにおいては、広く市民に開放し、体力の維持・増進とコミュニケーションづくりに貢献できるよう、より質の高いサービスの提供を目指します。また、安全・安心で効果的な施設運営を行うとともに施設の認知度を高め、利用の増加を図ります。

なお、宿泊施設は今年度より廃止しました。

■施設運営

職員の創意と工夫により、快適な環境づくりに努め、研究・研修施設としての役割の充実と利用率の向上を図るとともに、利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応により利用者満足度（CS）の向上を目指します。また、経費の削減に取り組む一方、安全管理に対しては職員一人ひとりが知恵を出し合い、信頼される施設運営を行います。

利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
会議室等	2,100	43,000	会議・研修会等
テニスコート等	800	4,000	テニス
計	2,900	47,000	